

令和 6 年度 第 1 回 成田市保健福祉審議会

- 1 開催日時 令和 6 年 8 月 9 日（金）午前 10 時 00 分から 11 時 55 分まで
- 2 場 所 成田市役所議会棟 3 階 執行部控室
- 3 出席者 審議会委員 10 名
西田会長、山田副会長、杉原委員、小川（正）委員、秋葉委員、城委員、
飯田委員、高橋（知）委員、高橋（雅）委員、木村委員
（欠席 5 名：野内委員、里見委員、小川（康）委員、但野委員、仲野委員）
事務局
堀越福祉部長、宮崎こども未来部長、高橋健康推進部長、
鈴木社会福祉課長、渋谷高齢者福祉課長、橋本障がい者福祉課長、
森田介護保険課長、狭山こども政策課長、谷崎子育て支援課長、弘海保育課長、
柴田地域医療政策課長、飯田健康増進課長、他各課担当職員

4 議事

（1）各種計画について

- ①成田市総合保健福祉計画
- ②第 6 期成田市障がい福祉計画・第 2 期成田市障がい児福祉計画
- ③第 8 期成田市介護保険事業計画
- ④第 2 期成田市子ども・子育て支援事業計画
- ⑤成田市こども計画
- ⑥成田市健康増進計画
- ⑦第 2 期成田市歯と口腔の健康づくり計画

5 議 事

（1）各種計画について

①成田市総合保健福祉計画

（西田議長）

それでは、議題（1）各種計画について、であります、
まず、成田市総合保健福祉計画について、事務局の説明を求めます。

（事務局：社会福祉課長より説明）

本市の保健福祉政策の方向性を示す本計画について、令和 3 年度から令和 8 年度までを期間としているが、本年 3 月に本審議会の答申を受け、中間見直しを行ったことを説明。

また、地域福祉に係る具体的な事業として、包括的な支援体制の構築、民生委員児童委員の活用、避難行動要支援者の支援、生活保護や生活困窮者の支援や、成田市社会福祉協議会の活動実績等について報告。

（西田議長）

ただいま、事務局より 成田市総合保健福祉計画について説明がありましたが、ご意見、質問等はありませんでしょうか。

—意見無し—

（西田議長）

では、御意見等はないようですので、これで、成田市総合保健福祉計画についての議事を終了いたします。

②第 6 期成田市障がい福祉計画及び第 2 期成田市障がい児福祉計画

（西田議長）

次に、第 6 期成田市障がい福祉計画及び第 2 期成田市障がい児福祉計画について、事務局の説明を求めます。

(事務局：障がい者福祉課長より説明)

令和 5 年度が計画の最終年であった両計画について、事業の進捗状況等の報告を行った。

具体的には、福祉施設入所者の地域生活移行者数や施設入所者の達成状況について、令和 5 年度は目標値を下回ったこと、基幹相談支援センターで職員の増配を行ったこと等を説明。

福祉施設利用者の一般就労移行の達成状況については、目標を上回ったが、就労定着支援事業所の目標は下回っていることについて説明。

障害福祉サービスについては、共同生活援助及び就労継続支援が目標を大きく上回った理由について、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行により様々な経済活動が活性化したことや、それに伴い一般企業が人手不足となり、こうした事業所への需要が拡大したと思料されること等を説明。

地域生活支援事業については、コロナ禍のため一時的に利用者が減少していた移動支援事業及び日中一次支援事業の利用者数が回復し、大幅な増加となっていることを説明。

続いて、障害児福祉サービスについて、児童発達支援放課後等デイサービスの利用者が大幅に増加していること、また、身体、療育、精神の 3 手帳全てで所持者数が増加しているが、特に精神障害者保健福祉手帳の所持者数の伸びが顕著であること等の説明を行った。

(西田議長)

ただいま、事務局より 第 6 期成田市障がい福祉計画及び第 2 期成田市障がい児福祉計画についての説明がありましたが、ご意見、質問等はありませんでしょうか。

(小川委員)

障がい福祉計画・障がい児福祉計画は実績値が示され、目標達成に努めていると思うが、一般の市民には、この目標値が分かりにくい。そのため、数値ではなく、3 ヶ年若しくは 5 ヶ年でも構わないが、その間で特に重点的に取り組んだ事業や数値を教えてください。

例えば、コロナ前後での比較でも構わないが、こういった部分が特筆すべき点だということや、他市と比較したときに、成田市の特徴的な政策などがあれば、その点について教えてください。

(障がい者福祉課長)

新型コロナウイルスの影響もあり、目標が達成できていない事業もありましたが、現時点では全体として、目標に近付いております。

また、成田市の特徴といたしましては、障がい児の発達支援に力を入れておりまして、直営で発達支援センターを設置していることも有り、これまでは民間事業者の参入が殆どありませんでしたが、近年は隣の富里市も含めまして、大幅に民間事業者が増えており、障がいを抱える子ども達も、より健やかに成長する支援体制が整ってきていると考えております。

(西田議長)

他に御意見等はないようですので、これで、第 6 期成田市障がい福祉計画及び第 2 期成田市障がい児福祉計画についての議事を終了いたします。

③第 8 期成田市介護保険事業計画

(西田議長)

次に、第 8 期成田市介護保険事業計画について、事務局の説明を求めます。

(事務局：介護保険課長より説明)

「成田こっぷくアカデミー」と、「人生かっこよくプロジェクト」の一環として実施される「認知症と生きる予防する」について周知。

また、人口の増加や認定者の増加、介護給付費の状況、施設整備の状況、実施された取り組みなどについて説明。

介護給付費については、総給付費がコロナ禍による一時的な利用控えなどの影響があったものの現時点では改善され、施設整備状況と合わせて、計画値と比べてほぼ 100% の実績であることを説明。

介護予防普及啓発事業について、「人生かっこよくプロジェクト」として、認知症専門医監修による体操や脳トレなどの総合的なプログラムを実施し、令和 4 年度からは会場での対面教室の他に、オンライン配信も開始し、大幅に参加者が増加していること等を説明。

一般介護予防事業としては、国際医療福祉大学と連携して推進する「なりたいいきいき百歳体操」や、順天堂大学との連携事業である「シニア健康カレッジ」について、それぞれ開始から 10 年を迎え、今年が市制施行 70 周年という年でもあるため、市内の活動グループを一堂に集めて、記念大会を 4 月、5 月に開催したことを説明。

また、第 9 期計画から新規に、国際医療福祉大学との連携事業として開始する「成田こっぷくアカデミー」について説明。リハビリ専門職が、要支援の高齢者を対象に、大学キャンパスで全 12 回の教室を実施するもので、引き続き官学連携での介護予防に取り組んでいくこと等を説明した。

(西田議長)

ただいま、事務局より、第 8 期成田市介護保険事業計画について説明がありましたが、ご意見、質問等はありませんでしょうか。

—意見無し—

(西田議長)

御意見等はないようですので、これで、第 8 期成田市介護保険事業計画についての議事を終了いたします。

④第 2 期成田市子ども・子育て支援事業計画

(西田議長)

それでは、続きまして、第 2 期成田市子ども・子育て支援事業計画について、事務局の説明を求めます。

(事務局：こども政策課長より説明)

計画期間が令和 2 年から令和 6 年度までとなる本計画について、事業の実績報告を行う。

市内の保育施設や児童ホームの開設、利用実績等について説明。

また、病児保育や子育て援助活動支援事業などは新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少し、計画値と実績値が乖離していたが、地域子育て支援拠点事業等、実績値が回復傾向にある事業も見受けられていること等を説明。

(西田議長)

ただいま、第 2 期成田市子ども・子育て支援事業計画について説明がありましたが、ご意見、質問等はありませんでしょうか。

(城委員)

地域子ども子育て支援事業における 13 事業の進捗状況の中で、地域子育て支援拠点事業についての質問になるが、計画値は 7 万人強であるところ、実績としては 5 万 8 千人ほどに留まっている。この理由は何が原因だったと考えているか。

また、支援拠点事業自体が周知されていないとすれば、多く利用してもらうことが良いかと思うが、その点について見解を聞きたい。

(こども政策課長)

まず、計画値につきましては、計画を策定し平成 30 年度の利用実績を元に設定したものでありますが、その後、保育施設を利用するお子さんが増えたことと、コロナ禍によって利用制限をしていた時期があることなどが理由であると考えております。

なお、コロナの影響が大きかった令和 2 年度の利用実績は、一番少なくなり、3 万 2 千人に留まりましたが、その時期に比べますと、昨年度の利用者数は 5 万 8 千人まで増加しております。また、今年度からは子ども館の開館日数を 60 日ほど増やしており、今後も利用しやすい環境整備に努めてまいります。

(西田議長)

それでは、他に御意見等はないようですので、これで、第 2 期成田市子ども・子育て支援事業計画についての議事を終了いたします。

⑤成田市こども計画
(西田議長)

それでは、続きまして、成田市こども計画について、事務局の説明を求めます。

(事務局：こども政策課長より説明)

本計画策定に至るまでの経緯について、国が、昨年制定した「こども基本法」の基本理念に基づき、「こどもまんなか社会」の実現を目指すための基本的な方針を示した「こども大綱」が閣議決定されたことを受け、現行の子ども・子育て支援事業計画に、若者支援と子どもの貧困対策分野を加えた新たな計画を策定する方針となったことを説明。

また、計画の位置づけについて、これまで、子ども子育て支援事業計画が、総合保健福祉計画の下位計画という位置づけであったところを見直し、本計画及び子ども子育て支援事業計画を、「成田市総合計画 NARITA みらいプラン」のもと、総合保健福祉計画やその他計画との連携・整合を図る形とすることや、「夢と希望を持ち 未来を切りひらくこどもが育つまち」を基本理念とすること等について説明。

次に、計画の策定に伴い、子どもや保護者を含めた各世代へのアンケートやワークショップ、ニーズ調査、子どもの生活実態調査等の結果を基に、教育・保育や「こども誰でも通園制度」などの新規事業を含めた地域子ども・子育て支援事業、その他の新規事業を検討し、計画を策定していく旨を説明。

保健福祉審議会子ども・子育て支援部会における質疑を受けて、基本的な視点にある対話しながら施策を進めていくという姿勢を計画の策定後も続け、子どもの意見を施策等に反映できるように検討すること、アンケートの結果を学校にも共有すること、パブリックコメントを行うほか、市民が計画の内容を知る機会を作るために子ども・子育て支援部会の審議結果等を市ホームページで公開するとともに、こども計画の策定状況を随時ホームページで周知すること等を説明。

(西田議長)

ただいま、成田市こども計画について説明がありましたが、ご意見、質問等はありませんでしょうか。

(小川委員)

アンケート調査について、国際医療福祉大学の学生から意見をもらうこと自体は良いが、当該学生は、地方や外国から通っている方が多く、成田市民でない可能性も高いのではないかと。回答者の属性が分からなければ、成田市民ではなく、外部の方の意見ということになるのではないかと。

また、居場所づくり、子育て支援の重要性についての設問には、「ほっとできる場所がある」との回答が97%以上となり安心したが、詳細を見ると、自分の部屋が約80%、リビング等の家族と過ごす場所は約64%、その他インターネット空間、オンラインゲームという回答もあり、時代もあるのかもしれないが、地域との繋がりが不足しているように感じる。このような関りが不足することで、若い親が育児を一人で行わなければならない状況に陥り、育児に苦しみという面もあるのではないかと。一方で高齢者は増加しているため、高齢者にも子育てに参加してもらい、地域で子どもを育てる子育て支援拠点を整備するなど、マッチングを考えてもらいたいと感じるが、そのような方向で施策を検討していないのか。

学校以外の過ごし方の設問で気になった点は、貧困層とそれ以外の子どもの教育格差である。貧困層の子どもは、例えば、塾に行きたいのに行けないという話も聞いている。子ども食堂のニーズも増えているが、他市ではそのような子どもに学習支援事業を行っているようであるため、本市ではどのような計画になっているのかを聞きたい。

資料について、児童手当の所得制限についての記述があるが、最新のものに変えた方が良かったのではないかと。

(こども政策課長)

大学生への意見聴取結果については、属性までは載せられておりませんが、参考資料「②-4」に掲載しておりますのでご確認ください。

居場所づくりにつきましては、インターネットやSNSでの仲間づくりが挙げられており、時代の変化を感じるところであります。一方で、地域とのつながりも重要でありますし、居場所に関し

ましては、多いほど子どもの自己肯定感が高まるというような結果もありますので、今後は、子ども食堂や、外遊びを行っている民間事業所への支援等も検討しているところであります。

なお、学習支援については、来年度以降、社会福祉課で行う予定となっております。

児童手当については、国から示された資料を活用しておりますが、最新の状況が反映されていないものであり、失礼いたしました。

(介護保険課長)

高齢者と子どもの関わりについては、小学生向けの認知症サポーター養成講座を行っております。また、介護保険課では、保育園や児童ホームなどに、高齢者がボランティアに行くことでポイントがたまる高齢者ボランティア制度を行っております。ポイントは換金可能であり、1年間で5,000円を上限に貯められますので、子どもと関わるボランティアにつきましても、ぜひ活用をお願いできればと考えております。

(城委員)

私自身もボランティアを行っているが、現在ボランティアも増加中でありますので、高齢者ボランティアとの連携についても今後検討していきたい。

また、子どもの権利について、以前、ホームページに掲載するよう依頼し、学校でも周知していると聞くが、アンケートでは、子どもにあまり周知されていないという結果が出ている。今回策定しているこども計画については、児童の権利に関する条約を載せる方向だと考えてよいか。若しくは、同条約は多岐にわたるため、他市が行っているような「こども条例」の成田市版を制定してはどうか。

(こども政策課長)

子どもの権利につきましては、日本国憲法及び児童の権利に関する条約の精神に則り、本計画の基本理念や基本的な視点という形で定めておりますので、このことを第一に考え、こども計画にも方針を載せていく方向であります。

(城委員)

子どもの権利について、児童の権利に関する条約に紐づいたものとして作成するということが良いか。

(こども政策課長)

現時点では具体的に言明いたしかねますが、こども基本法自体、日本国憲法及び児童の権利に関する条約に関する精神に則ったものでありますので、その点については明記できるのではないかと考えております。

(西田議長)

他に御意見等はないようですので、これで、成田市こども計画についての議事を終了いたします。

⑥成田市健康増進計画

(西田議長)

それでは、続きまして、成田市健康増進計画について、事務局の説明を求めます。

(事務局：健康増進課長より説明)

生活習慣病予防対策として検診率の上昇に取り組んでいることや、コロナ禍を機に栄養相談等の電話件数が増加し、対面が減少したこと、身体活動や心の健康作りにも取り組み、相談支援事業などの施策を実施したこと等を説明。

また、子育て支援や地域の健康作りにも取り組み、診療所や在宅医療連携も行っていることや、在宅医療講演会は会場とウェブ参加の両方を用意し、参加者を増やすために内容を充実させる予定であること等を説明した。

(西田議長)

ただいま成田市健康増進計画について説明がありましたが、ご意見、質問等はありませんでしょうか。

—意見無し—

(西田議長)

御意見等はないようですので、これで、成田市健康増進計画についての議事を終了いたします。

⑦第 2 期成田市歯と口腔の健康づくり計画

(西田議長)

それでは、続きまして、第 2 期成田市歯と口腔の健康づくり計画について、事務局の説明を求めます。

(事務局：健康増進課長より説明)

本計画は、本年 3 月に中間見直しを行い、目標の達成状況等を確認したことを説明。

具体的には、妊婦や乳幼児の指標を改善し、学齢期でも成果が見られること、成人期では受診率が低下し、歯周病の注意が必要となること、障害者や要介護者の指標も設定されていること等を説明。

また、高齢者の増加に伴い、口腔の健康づくりを推進するための指標と数値目標が記載されている点や、乳幼児期や成人期など、指標の改善が必要である世代に対して更なる推進を図り、ライフステージに応じた歯科口腔保健サービスの提供に努めていくこと等を説明。

(西田議長)

ただいま、第 2 期成田市歯と口腔の健康づくり計画について説明がありましたが、ご意見、質問等はありませんでしょうか。

—意見無し—

(西田議長)

御意見等はないようですので、これで、第 2 期成田市歯と口腔の健康づくり計画についての議事を終了いたします。

それでは、これで全ての議事を終了いたしましたので、進行を事務局にお返しします。

委員の皆様、長時間、多くの議事の進行にご協力いただき、ありがとうございました。

6 傍 聴 者 2 名

7 次回開催日時 令和 6 年 1 1 月から 1 2 月頃を予定